

令和4年3月大竹市議会定例会(第2回)

一般質問及び総括質疑通告表

1.

4番 小中 真樹雄 議員

質問方式：一問一答

現場を見ずに子供の安全を守れるのか

1月22日付の毎日新聞ニュースメールによると、4月1日施行予定の改正児童福祉法施行令では、自治体に義務づけられている保育所への監査をめぐり、「実地で行う」という要件が削除されようとしているとあります。現行の児童福祉法施行令では、市町村は小規模保育所など家庭保育事業を1年に1回以上設備や運営に関する基準を守っているか実地で調査しなければならないと定めています。

改正は新型コロナウイルス感染拡大防止が目的とされていますが、保育事故の遺族や識者からは「現地に行かなければ確認できないことがある」と規制緩和に反対の声が上がっています。

絶対要件ではなくなるにすぎず、現地調査も可能と考えますが、市としてはどのように対応するつもりですか。

「図書館に複数新聞を」の文科省方針について

1月27日付の朝日新聞によれば、文科省はすべての公立学校の児童生徒が複数の新聞を読める環境を整備する計画を立て、全国の教育委員会に通知したとあります。主権者教育に役立ててもらうのが狙いだそうです。

計画では、2022年度からの5年間で、小学校で2紙、中学校で3紙、高校で5紙を読めるようにするとしており、国は約190億円をかけ各自治体に配備を求めていくとしています。本市における図書館への配備状況及び活用の実態について、文科省の方針を受けての取り組みについてお聞かせください。また、大竹中ではN I E(教育に新聞を)に取り組んでいると聞いていますが、実施状況や効用について教えてください。

2.

13番 日域 究 議員

質問形式：一問一答

地籍混乱と平行して、市境界の不明確さの修正も必要です。

大竹市が作成した地図に、全図と管内図があるようです。ところが、全図を縮小コピーしても管内図にはなりません。正しいのはどちらでしょうか。市の境界は、大竹市が行政権を行使する範囲を決めるものです。その範囲内にあってこそ、大竹市の権限と義務が生じます。今から令和4年度の予算審議が始まりますが、その範囲が不明確であれば、審議自体が成立しません。具体的に言えば、旧松ケ原小学校の近辺です。大竹市が作って公表している2つの地図ですが、正しいのはどちらですか。私が間違っていればご指摘を。

大竹市立の小中学校の設置者は誰ですか。運営の責任者は誰ですか。

大竹市独自の問題ではありません。全国の問題です。先の地図の問題ではありませんが、権限があれば同時に責任が伴います。教育予算は市長が作成し議会が承認します。当然です

が、市長や議会にはその責任があります。しかし、現行の形では教育長に任せたきりになっています。教育内容の中立性は必要でしょうが、教育行政について市長が答弁すべきです。今、市議会は無投票に怯えています。戦前の教育が戦争を生んだとすれば、戦後の教育は政治音痴の若者を生んでいます。教育と政治、日本中が勘違いしていませんか。

3.

3 番 原田 孝徳 議員

質問形式：一問一答

「地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備」について

地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律が施行され1年が経過しようとしています。そこで、その実現に向けた包括支援体制の整備の現状における評価と改善についてを、大竹市高齢者福祉計画・大竹市第8期介護保険事業計画に沿って伺う。

4.

2 番 藤川 和弘 議員

質問形式：一問一答

大竹市民の方に、選挙に興味をもってもらい、選挙人が、投票しやすい環境にするために

共通投票所とは、投票率向上のため居住する地域に基づいて指定される投票区の投票所とは別に設けられ、自治体の有権者であれば誰でも投票できるよう2016年参院選から導入されました。人が集まるショッピングセンターなどが活用されており、2016年参院選と2017年衆院選は7カ所、2019年参院選は45カ所、全国で設置されております。共通投票所について本市のお考えと、新たな期日前投票所の設置のお考えはあるか問う。

5.

14 番 細川 雅子 議員

質問方式：一問一答

令和4年度の大竹市の姿と新年度予算について

～まちづくり基本計画をみすえ、令和3年度から4年度にどのように繋いでいくか～

新型コロナウイルス対策で振り回された感がある令和3年度がまもなく終わります。令和4年度は大竹市にとってどのような1年間になるのでしょうか。

新型コロナウイルス感染予防により、対面での活動が制限される中でも、なしえたことや見えてきたことはあるか。

活動制限が続いたことで市民活動や自治活動に変化はあったのか。次年度に向けて整理しておられると思います。

市長は、現場の思いをどのように受けとめて新年度に繋いでいかれるかお尋ねします。

6.

15 番 寺岡 公章 議員

質問形式：一括

まちづくり基本計画の浸透具合について

新年度予算に対する総括質疑として伺います。

予算編成の根拠の1つであるまちづくり基本計画について、令和6年度までの市行政のバイブルのようであると捉えています。

個々の所属部署や担当事業に限らず、全体像は職員の皆さんにどの程度浸透しそれぞれ習得しておられますか。

これは、他の部署が何を指して何を行っているのかを意識することで、担当する事業の主目的以外に付加価値をつけ、大竹市行政が持つ目標の達成度向上を期待するものです。

基本構想等の普及は市民に対してだけではありませんので、構想により近づくために「職員一丸となって」を体現させるには、必須の取り組みだと考えますがいかがでしょうか。

当然ですが、世の流れによって正職員との境界が薄くなりつつある、会計年度任用職員の皆さんにも同等の習熟度を求めます。

基本目標の1つ「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」について

市の計画や予算編成において、このうち「結婚」はどこにいましたか。